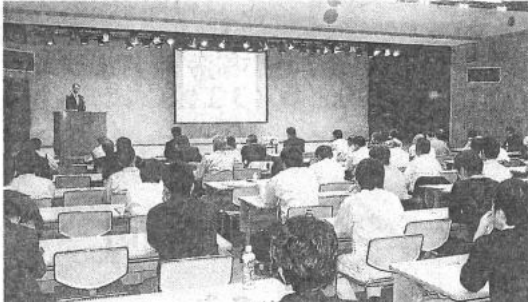


コンクリート診断士会らが講習会

120人、セメント系補修・補強学ぶ

福井県コンクリート診断士会・セメント協会主催の「セメント系補修・補強材料に関する技術講習会」が17日、福井市宝永の福井県国際交流会館で開催された。福井県建設技術公社が後援。



120人が参加した技術講習会=17日、国際交流会館

「すべに役立つセメント系補修・補強材料の基礎知識」の発刊にも関わったセメント協会・セメント系補修・補強材料推進WGの徳永健二、五十嵐数馬両氏を講師に招き、会員ら約120人が参加した。

会場では冒頭、診断士の石川裕夏会長が「セメント系補修・補強材料は正しい知識を持って正しく使うことが重要。きょうの講習会を正しい知識を吸収する機会に」とあいさつ。

講演では、まず徳永氏が断面修復工法として左官、充てん、吹付けの3工法を取り上げ、その特徴を紹介したうえで、施工規模、施工面積、最小施工厚みといった条件により最適な工法を選定する手順などを説明。続いて、五十嵐氏が「補修・補強工法と材料、補修した構造物の耐久性とLCC他」について詳しく解説し、参加者らは熱心に聞き入っていた。